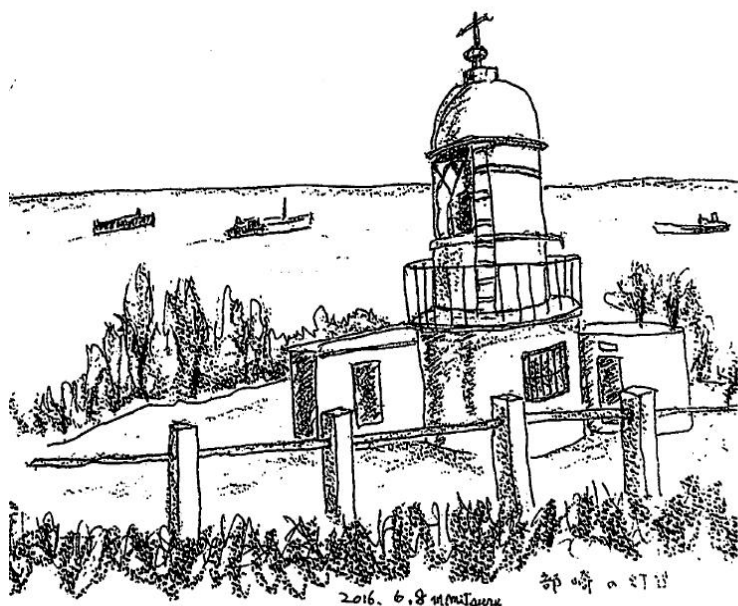


週報2022年6月5日



2022年教会標語聖句

起きよ。光を放て。あなたの光が来て、
主の栄光があなたの上に輝いているからだ。

イザヤ書60章1節

シオン教会信仰指標～人生が変わる！御言葉の光に照らされて～

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年6月5日

ピアノ：赤松姉 オルガン：力丸勝子師

司会：大熊兄 献身の祈り：松本兄 メッセージ：山崎師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 135「御霊は天より」	
祈 禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*	
献身の祈り		松本 兄
賛美	新聖歌 416「聖霊来れり」	
賛美	コーラス1「あがない主」	
聖書朗読	使徒の働き 2章 1-12節	
説 教	「主の収穫を祝う」	山崎 師
祈 禱	恵の感謝と応答の祈り	
聖 餐 式	奉仕者：石田兄・吉田兄・小松姉・吉武姉	
祈 禱	恵の感謝と応答の祈り	
頌 栄 祈 禱	「主の祈り」	山崎 師

交わりの三省

*互いに愛し合っていますか

*互いに赦し合っていますか

*互いに祈り合っていますか

説教要約

使徒の働き 2章 1-12節

「主の収穫を祝う」

①敬虔なユダヤ人

今日の一番目のポイントで注目すべき人達は敬虔なユダヤ人です。この人達はいわゆるディアスポラ(離散されたユダヤ人達)と呼ばれる人達です。彼らは様々な理由(特にアッシリア帝国、バビロン帝国との敗戦を機に捕虜となる)で自国に住めなくなりました。そして捕囚後も彼らは様々な理由でイスラエルに帰る事なく、移住や定住を繰り返していきました。今日の箇所敬虔なユダヤ人とは、数百年の時を経ても、それぞれの地で先祖から教え伝わる、神の教えを大切に守り続けた人々です。神の教えとは主の祭りを毎年守り祝う事です。※レビ記23章※その中に五旬節(収穫祭)があります。つまり彼らはその祭りを忠実に守る為、自国から長旅を経てエルサレムに滞在していたのです。彼らはその土地での誘惑や迫害の中で主の教えを守り通しました。ここから学ぶ大切な事は主の前に敬虔であることです。

彼らは精神的にタフだったわけではありません。では何故何百年も信仰を守り、耐え忍ぶことが出来たのでしょうか？それは神の約束に忠実(つまり敬虔)だったのです。それが彼らをイスラエルに向かわせた原動力です。私達は色々な出来事に遭遇し、思わず神は何処にいるのか？と嘆いてしまう時があります。しかし私達が強くなる必要はありません。変わらない神の約束に心が向くとき、自然に足を向ける方向が定まります。つまり私達の生きる本文は主を礼拝する事です。

②五旬節

そんな彼ら(敬虔なユダヤ人)が驚くべき光景を目の当たりにします。なんと、自国の言葉をガリラヤ出身の人々(イエス様の弟子)が話しているのです。イエス様の弟子達も又、イエス様の約束を待ち続け、一つの所に集まり、祈っていました。※使徒1:4※そこで聖霊が注がれ、他国の言葉(異言の祈り)を口々に話し出しました。神の約束に向かってエルサレムに進む、離散されたユダヤ人。神の約束に離れずエルサレ

ムに留まった弟子達。彼ら一同が聖霊の満たしによって一つのキリストの弟子になった日。これが教会の誕生日、ペンテコステです。注目すべきことは神のメッセージを大胆に証したペテロ、彼はイエス様を裏切り、ガリラヤに帰りました。しかしイエス様の愛と恵みによって立ち返り、そしてこの時、悔い改めを人々に促したのです。そのメッセージは人々の心に刺さりました(使徒2:37)

普通は一度体験した以上の恥を晒したくはありません。ある意味でペテロは大勢の前で恥を晒しました。しかし大切な事はそれ以上に大きなイエス様の愛を自分の全てを使って証しました。私達は聖霊の力によって何度でも神の愛に立ち返る事が出来ます。色々な過程を経る事があっても、御霊に導かれ、唯一の主に向かって一緒に礼拝を捧げる事が大切です。

③主の収穫を祝う

五旬節(ペンテコステ)は別名収穫祭と呼ばれています。つまり農作物の収穫を神に感謝するお祭りなのです。五旬節の50日前、イスラエルでは大麦の刈り入れが始まり、その初穂を祭司のもとへ持って行きます。そしてその7週間後の次の日曜日(大麦の収穫から50日目)に今度は初めに収穫した小麦を2つのパンにして捧げます。聖書は大麦の初穂をキリストの復活、そして小麦の初穂を教会の誕生としてすでに予表していました。大切な事として、ペンテコステは聖霊によって神の愛にみんながどっぷりと浸されて一つにされたということです。興味深い事に使徒の働き2章の締めくくりはキリストの弟子にされた者が皆、心一つにしてパンを割り分かち合い、仲間が増し加えられたとあります。(2:43-47)

一粒のイエス・キリストと言う麦が地に落ちました。そしてよみがえられ初穂となったキリストによって私達はキリストの収穫物として刈り取られました。そして次に“私達”が次の収穫物に目を向けて一丸となって進みだす事、これがペンテコステの祭りです。一人、一人が今、御霊の導きによって導かれここ(教会)に集っています。御霊に満たされて、共に心合わせ魂の救いの為にキリストを証して参りましょう。